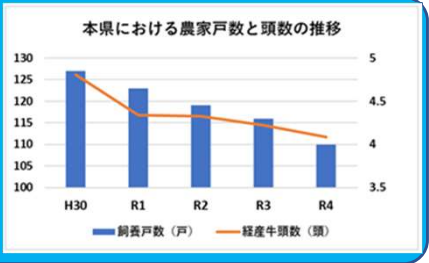


ゲノミック評価に基づく後継牛の選抜と外部育成預託の取組により、優れた牛群が整備され生産性が向上することで持続的な酪農経営の実現を図る。

現状・課題

飼養戸数及び頭数の減少
・物価高騰等で経営が圧迫され廃業、規模縮小
・廃業等で飼養頭数が減少



後継牛の確保困難
・育成期間の労力不足
・育成スペース確保困難



生産量及び産出額の減少
・廃業や後継牛確保困難により飼養頭数が減ることで、生産量や産出額が減少する

必要な対策	事業内容
ゲノミック評価による後継牛の選抜	①ゲノミック評価推進事業 (5,687千円：11千円/頭) ゲノミック評価を活用し、高い能力の後継牛を選抜する取組を支援
外部委託施設活用による労力軽減・育成場所の確保	②乳用育成雌牛預託事業 (3,000千円：1/2以内、ただし上限50千円/頭) 乳用後継牛確保のため、共同育成施設利用にかかる費用の一部支援

目指す姿

- ・選抜された生産能力の高い乳用後継牛による牛群の整備
- ・優れた牛群の整備による生産量・産出額の増加

①ゲノミック評価の活用
・ゲノミック評価による高い能力の後継牛の選抜



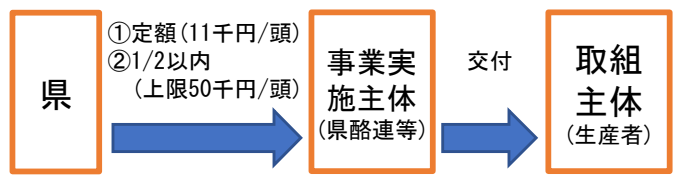
②育成牛預託施設の活用
・育成牛確保
・労力・スペースを外部預託化



生産量及び産出額の増加
・優れた牛群が整備により生産量が増え、産出額が増加



事業の流れ



事業項目	R6年度	R7年度	R8年度
事業事務	計画承認～交付決定 ~2月末日 概算払請求 ~3月末 実績報告・額確定		
①	ゲノミック評価にかかる費用 (11千円/頭) 交付決定日 ~2末		
②	期首日～期末日までの間の預託にかかる費用の1/2 (上限50千円/頭) 交付決定日 ~2末		